

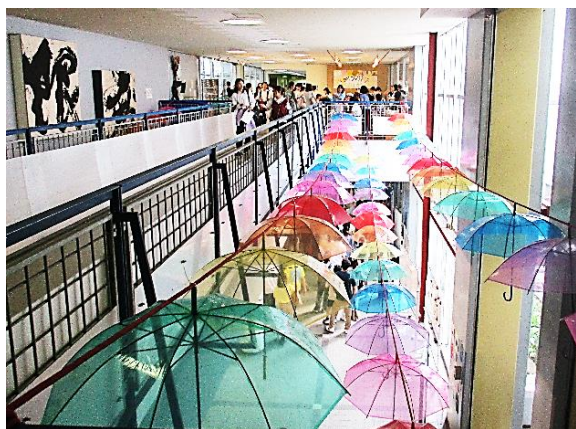


3年学年だより

発行日:令和7年9月30日(火)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:二上 直子 NO. 5



祭高到達点



校長代理 中澤 務

南高祭「舞台の部・展示の部」が、9月12日(金)から14日(日)に開催されました。今年のテーマは「祭高到達点」。生徒

の皆さんが、夏休み前から、そして休み中も続けて積み重ねてきた準備の成果が、一つひとつの場面に見事に表れました。13日(土)、14日(日)の一般公開には7000人近い方が来場される盛況ぶりとなりました。ご来場いただいた皆さま、日頃から生徒たちの活動を支えてくださっている保護者の皆さま・PTAの皆さま、同窓会の皆さま、後援会の皆さま、地域の皆さまに、改めて感謝申し上げます。

まず「舞台の部」。今年も各学年・有志の発表は迫力満点で、「序章」「花の章」から会場の空気を一気に引き込んでいました。音楽、ダンス、クイズやゲーム、工夫を凝らしたクラスCM、そして高校2年生の「風の章」での演技と映像、パフォーマンス…。多彩な演目が次々と披露され、その一つひとつに熱い声援や、感動の眼差しが送られていました。「憧憬の章」で登場したスカチャンさんやヨネダ2000さんは、ステージを終えてお帰りの際、会場の盛り上がりぶりに「生徒が本当に素晴らしい！」と言葉を残してくださいました。ステージとフロアが一体となった空間は、南高祭ならではの熱気に包まれていました。

「展示の部」では、学校全体が活気にあふれ、フード販売や展示、アトラクション、部活動の発表など、どこを歩いても生徒の皆さんのおもてなしの心を感じることができました。2日目の朝、会場準備に取りかかる様子を見て、私は驚かされました。一人ひとりが役割を意識し、てきぱきと動く姿は、まるで経験豊富な従業員がお客様を迎える直前のようなようでした。生徒の皆さんの成長を感じました。会場を後にする方から、「楽しかった」「ありがとうございました」の声をたくさんいただきました。皆さんの誠実で丁寧な対応が、多くの人に温かい思い出を残したのだと思います。片付けも素晴らしかった。大規模な行事の後にはどうしても疲れが見えるものですが、生徒の皆さんは最後まで協力し合い、撤収作業を進めてくれました。その姿は、準備や本番の華やかさにも劣らない、大切な「南高祭の一部」であったと感じます。

南高祭を通して改めて実感したのは、行事の成功を支えているのは、一人ひとりの熱心な姿勢と、仲間と力を合わせようとする気持ち、「みんなで創ろう」ということです。舞台に立った人、会場を整えた人、運営を支えた人、それぞれが互いに信頼し合い、協力することで、みんなの心に残る行事になったのでしょう。

附属中2年生はイングリッシュキャンプ、3年生は沖縄研修旅行を控えています。南高祭で育んだ友情と協力の姿勢を、次の行事や授業、さらには日常生活の中にもいかしてほしいと思います。皆さんがそれぞれの場面でさらに「到達点」を更新していくことを期待しています。



中学ラスト！ 南高祭！

～舞台の部・展示の部～

9月12日（金）に南高祭の舞台の部、13日（土）および14日（日）には展示の部が開催されました。保護者の皆さまをはじめ、多くの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

舞台の部「花の章」では、大人数によるパフォーマンスとして、実行委員と中高6学年全クラスの有志が一同となってダンスを披露しました。会場が一体となり、心を動かす素晴らしい発表となりました。

クラスCMの1コマ



展示の部では、夏休み前に内容とタイトルを決定し、夏休みが明けてから展示の部実行委員を中心に急ピッチで準備を進めました。12期生は、来てくださる方に楽しんで喜んでもらえるよう、皆で様々なアイデアを出し、思考錯誤を繰り返しながら創り上げていきました。各学級の内容はもちろんのこと、教室の装飾も工夫し、中学校最高学年にふさわしい展示を披露できました。昨年までとは違った展示となり3年生として着実に成長しているのだなど、とても嬉しい気持ちになりました。

学級での取組に加え、舞台の部・展示の部の委員会活動にも、中学校最高学年として責任を果たし頑張ったからこそ、高校の先輩方が南高祭全体の枠組みづくりや事前準備に尽力してくださっていたことに、改めて気づくことができたのではないのでしょうか。今年の経験を糧に、来年度以降は高校生として、中学生を支える立場で活躍してくれることを期待しています。

❶ 南高祭の舞台の部・展示の部を通して学んだこと・培った力はどんな力ですか。それを今後どんな場面で生かしていきたいと思いますか。

Ⅰ組『ちイかわゲーム』～理系サバイバル検定ってこと！？～



・積極的に動く力と周りを見る力でその力を学習でも生かしていきたいです。

・舞台の部では、率先して動く力や先輩後輩との連携をとる力が身についた。また、「どうしたらお客さんが喜んでくれるか」を常に考えながら仕事に取り組む大切さを学んだ。展示の部では苦手な接客にたくさん挑戦でき、初対面の人と明るく笑顔で話したり、臨機応変に対応したりする力を培うことができた。これらの力を来年に活かしていきたい。

2組『水金地火木土天神谷』

・展示の部では、委員会の仕事でインフォメーションを担当しました。そこまで大きなことをしたわけではありませんが、笑顔で優しく接することができたと思います。今後人と関わる上で活かしていきたいです。また、委員としてクラスの意見を聞いたりまとめたりする力もついたかなと思います。

・部活でも動画制作でも時間がない中で、スケジュールを細かく立てたことで終わらせることができました。テスト前など勉強面でも週プランをもっと有効活用していきます。また、やるべきことをメモして忘れないようにするだけでなく、目標を可視化することでモチベーションの維持ができました。



3組『転生したら足軽だった件』



・仕事を見つける力です。仕事を待ち続けるのではなく、周囲をよく見ながら忙しそうな場所に行って、自分から仕事を見つける力を身につけました。みんなで協力しながら1つの大きなことを目指す達成感や連帯感を味わうことを、クラス全体でできたのかなと思います。今後の人生においても、きっと意識しなくても活かせる力になると思いました。

・それぞれの持ち場で「自分が〇〇を担っている」という意識を持つことが、とにかく大事だと思いました。自分の動きや仕事、発言などに責任を持ち、他の人のことを考えることが大切だと知りました。いつまでもお客様気分ではないようにしたいです。

4組『Expo 3 - 4』～南・国際万博～

・展示の準備から片付けまで、クラスで協力する力を得られました。実行委員の人に限らず、有志団体や先生などに支えられて完成した南高祭は、今までで一番楽しかったです。私も多くの人を支えられるような人になりたいと強く思いました。

・1つのものをみんなで協力して作れた達成感と、1つの同じことに向かってみんなで試行錯誤をしているからこそ、仲間との関係が深まるのだと思いました。次は沖縄があるので、みんなと協力して頑張っていきたいです。



3年生対象 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

	国語	数学
本校	80.0	87.0
全国（公立）	54.3	48.3

平均正答率（％）

3年生を対象として4月に紙面実施された、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。国語・数学の2教科において、平均正答率は全国（公立）を大きく上回る結果となりました。返却した個人票によく目を通して自己分析をしましょう。